

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 鳥羽市	対談項目1 海女文化のユネスコ無形文化遺産登録にむけた展望について	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市は、海女さんに関しては日本一の街とっており、知事に「ユネスコの世界遺産」と言われて大変喜んでいますが、実際に登録されるまでの道のりのハードルは大変高いと考えています。 ・知事の考えられる登録までのロードマップがどのようなものなのか、任期中に登録されるのか教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海女は、文化としての側面、漁業の担い手としての側面、観光の資源としての側面と大きく3つあると思います。 ・ユネスコ登録のためには、それまでに国・県の文化財に登録していかなければならないので、海女の文化的価値について、専門家を含めて調査し、議論してきたところです。 ・今年の5月には、海女保存会を鳥羽でも志摩でも作っていただき、協議会も設立していただきました。文化財登録には、保存会が地域にあることがひとつの条件になっていますので、地域の皆様のご協力のおかげで一步進んだと思っています。 ・まずは、県の無形文化財に登録しなければならないので、今年の7月1日に県の文化財保護審議会に諮問を行いました。おそらく今年度中には答申が出てきて、県の文化財として指定されると考えています。 ・来年度以降に、国・ユネスコという形になっていくわけですが、26年以降のなるべく早い時期に文化庁に諮問し、指定されるようにと考えています。 ・私の今の任期がH27年4月までなので、ユネスコの登録まではちょっと難しいが、なんとか国の登録までの道筋は付けたいと思っています。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
				<ul style="list-style-type: none"> ・（海女文化を）文化財として全国の多くの皆さんに認識してもらおうということが大事だと思っていますので、10月27日に初めて県外で「海女サミット」をやることは、気運醸成としてありがたいと思っています。私も石川県の谷本知事からご招待を受けましたので、参加をさせていただいて全国的な気運醸成に協力していきたいと考えています。 ・鳥羽市さんにおかれましては、保存会等でご協力いただいているところですので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 鳥羽市	対談項目2 鳥羽の豊かな食の魅力を活用した一次産業の振興について(その1:農林水産物直売所のPR)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の10月に遷宮を控えて、伊勢市にはたくさんの観光客が訪れていますが、鳥羽市への観光客はそんなにも増えていません。 ・(鳥羽市に観光客を呼び込むためには)鳥羽にしかない魅力を伸ばすことが大事だと考えています。 ・伊勢になくて鳥羽にある魅力は、素晴らしい景色と美味しい食べ物であると思っています。 ・職員のプロジェクトの中で、佐田浜の農水産物の直販所の話が出てきました。 ・第一次産業の振興に観光も結び付け、それにプラスして市民の皆さんにも楽しんでもらう場所を作りたいという思いで計画を進めています。 ・農協と漁協が一緒になってやることは、全国的にもほとんどないと思います。 ・LLPという有限責任の組合を作ってもらって、そこでやってもらうことになりました。 ・いろいろな支援、PRを含めたご協力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LLPを使って農協と漁協がやることは日本で初めてではないかということです。直販所については大変期待しています。 ・鳥羽市にあるたくさんの食材、アワビ、伊勢えび、かきはもちろん、きんこ芋、加茂(かも)牛(ぎゅう)、ヤマトタチバナなどいろいろな農水産物がありますので、その発信基地となる直販所に大変期待しているし、我々も支援していきたいと思っています。 ・山形県知事が三重県でさくらんぼフェアを実施した時に、三重県の食材も一緒に、県内のJAの直販所22か所で20日間ぐらいにわたってPRを実施しました。 ・日本初の直販所がここにあるぞということを各種イベントでPRしていきたい。 ・広島県知事との1対1対談で、牡蠣の消費拡大を一緒にPRしていくことについて合意した。例えば、整備していただく直販場で、広島県と一緒にPRしていくのも良い。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 鳥羽市	対談項目2 鳥羽の豊かな食の魅力を活用した一次産業の振興について(その1:農林水産物直売所のPR)			<ul style="list-style-type: none"> ・日本初の直販所がここにあるぞということを各種イベントでPRしていきたい。 ・9月に日本橋でオープンする三重テラスでも、直販所自体のPRと鳥羽の食材をPRをしていきたい。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 鳥羽市	対談項目3 鳥羽の豊かな食の魅力を活用した一次産業の振興について(その2:資源管理と増殖について)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業の漁獲高が減ってくると全体への影響が出てきます。 ・アワビやサザエは大きくなるのに時間がかかるので、育てていくのが大変ですが、資源を確保することが重要です。 ・アワビの漁獲量も最盛期のころと比べると10分の1になっています。 ・県でアワビを育てて放流してもらっているが、小さいと歩留まりが悪いので、もう少し大きく育ててから放流していただきたい。 ・予算をかけるのであれば効果的な方法をご検討いただきたい。 ・密漁対策についてお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海女の皆さんが漁業の担い手となって存続してもらうためには、アワビの漁獲量が増えていかないと生計をたてることができないし、海女を存続させていくこともできない。 ・我々もアワビの漁獲量をどう増やしていくかを特にしっかりと考えていかないといけない。 ・アワビの漁獲量は25年間で1/10に、海女さんの数も25年間で約2,000人から約1,000人に半減しています。 ・アワビの漁獲量を増やすために、県として取り組んでいることは大きく3つあります。アワビの漁場の整備というハード面がひとつ、海女さんの収益を5年間で1.5倍にするという目標がひとつ、アワビの資源を増やしていくことがひとつです。 ・県では今アワビを70万個から80万個放流しています。全漁獲量の10%ぐらいになっています。 ・アワビの資源量を増やしていく方法は2つあります。ひとつは放流量を増やすこと、ひとつは歩留まりを上げることです。 ・今、歩留まり(回収率)が5%ぐらいなのでこれを10%にしよう、漁獲量を8tから16tにしようという目標を掲げて取り組んでいます。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
				<ul style="list-style-type: none"> ・放流の仕方について放流時期、放流の深さ、放流する種苗の大きさ、放流密度、外敵の駆除の方法、磯の手入れなど歩留まりを高めるためのマニュアルを作成しました。 ・歩留まりを高めるための研究や予算について、しっかり検討していきたいと思っています。 ・密漁については、調べてみたいと思います。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 鳥羽市	対談項目4 「HOSUプロジェクト」、「人生の節目を鳥羽で祝う旅」等、本市の観光戦略に対するご協力について	<ul style="list-style-type: none"> ・「HOSUプロジェクト」という耳慣れない言葉ですが、いろいろな食物を干して保存して、味を良くするという文化がこの地方にはあります。この干す文化を活用していこうという考えが進んでいます。 ・1000匹の伊勢エビを干して、10月に、100人の海女さんが磯着姿のまま東京まで行って、その伊勢エビを振舞うというインパクトのある行事を計画しています。 ・昔からある日本の干す文化を活かしていこうと考えています。 ・それから干す文化の外に、鳥羽の観光として「祝い魚」、祝いに席にはかかせない「鯛」と「鮑」と「伊勢エビ」の3つをPRしています。 ・遷宮で、鳥羽に来て「祝い魚」で祝っていただくということをやっています。知事には、あちらこちらでPRしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・六本木ヒルズに、海女100人が行くことは、相当インパクトがありますし、注目も浴びますし、期待もされると思います。 ・このイベントを国も喜んでいますが、県としてももしっかり協力していきたいと思っています。 ・干すという文化についても、9月にできる三重テラスでセミナーを開催して、みんなに認知していければいいなと思っています。具体的にいろいろなご提案をいただきながら連携できればいいと思っています。 ・「祝い魚」は、明るい感じがしていいですね。いろいろな所でPRしていきたいと思っています。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
6 鳥羽市	対談項目4 「HOSUプロジェクト」、「人生の節目を鳥羽で祝う旅」等、本市の観光戦略に対するご協力について			<ul style="list-style-type: none"> ・六本木ヒルズに、海女100人が行くことは、相当インパクトがありますし、注目も浴びますし、期待もされると思います。 ・このイベントを国も喜んでいきますし、県としてもしっかりと協力していきたいと思っています。 ・干すという文化についても、9月にできる三重テラスでセミナーを開催して、みんなに認知していければいいなと思っています。具体的にいろいろなご提案をいただきながら連携できればいいと思っています。 ・「祝い魚」は、明るい感じがしていい
7 鳥羽市	(当日追加項目) 答志島への離島架橋について		<ul style="list-style-type: none"> ・先日、答志島で総会があって参加してきました。離島架橋をお願いしたいとのことでした。去年、おととしと2年連続で「1対1対談」で離島架橋のことを言わせていただいたんですが、その時は、「先進地も見て研究をする」と言われたと思いますが、新たな動きとかあれば教えていただきたい。島民の皆さんも大変興味を持っていますので、よろしく願いしたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度からスタートしました新たな離島振興計画では、鳥羽市さんと志摩市さんの合意形成を図りながらその必要性和方策について検討していきますという記述にしてあります。 ・事務方のほうで、具体的にどれぐらい調査・研究しているかは今日は把握しておりませんでしたので、またあらためて確認をして、多くの皆さんにご期待を持っていただいていることもありますから、調査研究を進めたいと思います。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
8 鳥羽市	(当日追加項目) 佐田浜港のポンツーンについて		<ul style="list-style-type: none"> ・佐田浜港市営定期船の発着場ができたがポンツーン的位置が悪くて船が2台止められないので検討していただいて、やれる範囲でお願いをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から鳥羽市さんにおっしゃっていただいているが、どのような改良ができるのか、検討状態を把握していないので申し訳ない。戻って、市長からあらためて話があったことを伝えます。